

兵高教組

調査情報

第28号 2010年1月21日

兵庫県高等学校教職員組合調査部

電話：078-341-6745

http://www.hyogo-kokyoso.com

学校ICT環境整備事業

無駄・押しつけには反対！ 現場の願いを出発点にした予算執行を

降ってわいたように、大型テレビが全教室分下りてきます。現場からは、「そんなことにお金を使うのなら、体育館の雨漏りを直して欲しい」など、無駄遣いを批判する声が上がっています。高教組は、国の施策を含め、現場の願いを出発点にした予算執行を要求しています。

麻生生権の「経済危機対策」の一環

今回の「学校ICT環境整備事業」は、麻生内閣の「経済危機対策」に盛り込まれていた「スクール・ニューディール」構想に基づくもの。民主党政権の「事業仕分け」によって、「本事業自体は廃止」とされましたが、文部科学省は、「既に地方公共団体から交付申請があったものについては交付決定を行った」として強行されたものです。

大企業の儲けを増やすだけの無駄

麻生内閣の「経済危機対策」は、補正予算の財政支出の総額が15兆円を超える過去最大の規模でした。その内容は、高速道路・巨大港湾などに2.6兆円を費やす大型工事や、50兆円の公的資金で株式を買い取る「株価対策」など、浪費とばらまきを中心です。「スクールニューディール政策」も、耐震工事など必要なものもありますが、学校ICTや太陽光発電施設などは大企業支援が狙いで、必要性や緊急性に乏しいものです。

全額国負担の事業

今回の事業は全て国の予算で行われるもので兵

庫県の持ち出しはありません。兵庫県は、右のような事業内容で国に対して申請を行い、認められています。

職場からの要望に基づき丁寧に

高教組は、国の事業であっても、職場への押しつけではなく役立つ事業になるように、職場の要望を聞き、丁寧に執行するように要求しています。

高教組の問い合わせに対して、県教委の担当者は以下のように回答しています。

- 教室への配置は、一律に強制するものではない。全ての教室で使用できる状態にしておけばよい。例えば、ワゴン等にテレビを設置して、校舎の各階毎に保管し、必要な場合に教室まで移動できるようにしておけばよい。その要件さえ満たせば、余ったテレビをどこに設置してもよい。
- 盗難や破壊防止のために、強化パネル等もつける。また、天吊りもできるようにする。
- どのように設置するかは、学校毎の仕様による。
- 共有サーバーに直接テレビからアクセスして、ビデオなどを配信することができる。
- 具体的な活用方法については、2月上旬に情報担当者会議を開いて、周知、交流を行う。

県教委文書

学校ICT環境整備事業について

政府の「経済危機対策」において、21世紀の学校にふさわしい教育環境の充実を図るために学校のICT化の整備が推進されることとなり、県教育委員会においては、以下のとおり整備を行い教育の充実に資することとなりました。

1 整備内容

① 教育（クラス）用コンピュータ整備（ノートパソコン）

○整備台数 高等学校 各校40台 / 特別支援学校 各校 8台

② 大型表示装置整備（50インチの大型ディスプレイ）

○整備台数 普通教室分 各1台（特別支援は高等部等） / 視聴覚教室 1台（地デジTV）

③ 校内LAN整備

- 1次整備・・・授業で利用している校内LANが未整備の普通教室（一部の学校）
- 2次整備・・・校内LAN老朽化等による改修

2 整備形態

・買取（国庫補助金・・・今年度限り）

*本事業は、経済対策の一環として国庫補助を受け整備を行うものです。文部科学省からは、地域経済の活性化の観点から、域内の中小企業の受注機会を増やすよう指示されています。

3 その他

- ・学習指導要領によるすべての教科においてICTを活用した授業が普通教室でも展開できる様、パソコン、表示装置、校内LANを三位一体として整備します
- ・設置場所については、普通教室等（表示装置は、レイアウト可能な様に稼働式の台を装着しています）
- ・表示装置の安全盗難対策については、パネルの保護シールドや接続金具の強化等の対策を講じています

